

第2章 安心・安全

◆施策体系

市民・地域・市が協力し安心して暮らせるまちをめざします	1 危機管理・防災
	1 地域防災体制の強化
	2 災害時初動体制の構築
	3 災害応急対策の充実
	4 災害を抑える都市基盤の整備
	5 非常時の体制の強化
	2 消防・救急
	3 防犯
	1 防犯のまちづくりの推進
	2 防犯体制の充実
	4 交通安全
	1 交通安全意識の普及啓発
	2 放置自転車対策の推進
	3 誰もが安心して通行できる交通環境の整備
	4 交通被害者の救済対策の充実
	5 消費生活
	1 健全な消費生活の推進
	2 消費者活動の支援

第1節 危機管理・防災

～ 危機管理意識が高く、自助・共助・公助が連携し、地域防災力の向上をめざすまち ～

2-1-1 地域防災体制の強化

(千円)

最優先	消防団デジタル無線整備事業	危機管理課		新規	H27	11,071	
			期間: H27～H27		H28		
	概要	平成15年10月の電波法関係審査基準の改訂により、埼玉西部消防組合において、平成27年度中に消防救急無線をアナログからデジタル通信方式に切り替えることから、同組合と連携を図るため消防団の消防ポンプ車及び詰所等にデジタル無線受令機を配備する。					
					H29		
					H30		
最優先	消防団の装備充実事業	危機管理課		新規	H27	3,706	
			期間: H27～		H28	11,214	
	概要	消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律の施行に伴い、消防団の装備が規定されたことを受け、団員の安全確保の装備、救助用器具、情報通信機器等の各装備について、全ての消防団詰所等に配備し、消防団の装備の一層の充実及び強化を図る。					
					H29	6,188	
					H30	未定	
重要	総合防災訓練事業	危機管理課	重点		既存	H27	1,980
	入団促進事業	危機管理課		指標	既存	H27	212

2-1-2 災害時初動体制の構築

(千円)

優先	防災ガイド・避難所マップ改定事業	危機管理課		新規	H27	15,689
			期間: H27		H28	
	概要	既存の冊子の作成後、防災行政無線の増設、地域防災計画の改定、土砂災害防止法にかかる区域指定など、新たに掲載すべき事項も増えていることから、再度改定版を作成し、全戸配布を行い、防災・減災の啓発に努める。				
					H29	
					H30	

2-1-3 災害応急対策の充実

(千円)

最優先	防災行政無線整備・管理事業	危機管理課		既存	H27	125,851
			期間: H11～		H28	6,351
	概要	災害時において市民への情報伝達や災害情報の収集・発信の有効な手段であるため、防災行政無線を平成25年度から27年度までに子局30基を増設し既設子局のデジタル化への更新を行うとともに、常に正常な状態で機能するよう維持管理する。				
					H29	6,465
					H30	6,465
最優先	災害時要援護者支援事業	危機管理課		既存	H27	0
			期間: H19～		H28	未定
	概要	災害発生時に支援が必要な高齢者や障害者等に対して、災害に関わる情報の伝達や安否確認、避難の手助けが地域の中で迅速に、安全に行われるための仕組みづくりをするため、申請に基づき、登録台帳を作成し、自治会・町内会等に提供する。				
					H29	未定
					H30	未定
最優先	耐震性貯水槽整備事業	危機管理課		既存	H27	101,482
			期間: H25～H27		H28	
	概要	災害時における飲料水の確保のため、水道配水管経路上に耐震性貯水槽を設置するものである。所沢市地域防災計画で市内5か所への設置計画を規定しており、これまでに4か所において設置済みであり、残り1か所について整備を行う。				
					H29	
					H30	
重要	応急物資備蓄・保守事業	危機管理課		既存	H27	87,463
	緊急・災害時用トイレ整備事業	危機管理課		既存	H27	251

2-1-4 災害を抑える都市基盤の整備

(千円)

重要	我が家の耐震診断相談会事業	建築指導課		既存	H27	*事業費は「我が家の耐震診断・耐震改修補助事業」に含む
----	---------------	-------	--	----	-----	-----------------------------

2-1-5 非常時の体制の強化

◆◇◆計画期間における目標指標

家具などの転倒防止策を行っている市民の割合 危機管理課

現状値	H25	目標値	H27	H28	H29	H30
	42.3		44.1	45.0	45.9	46.8

単位：%

【説明】 防災の自助の取り組みの状況を示す指標です。
 現状値は、平成25年度の市民意識調査の設問「あなたのご家庭では、家具などの転倒防止策を行っていますか」に対して、「全ての家具に転倒防止策を行っている」「寝室のみ転倒防止策を行っている」「寝室以外の転倒防止策を行っている」と回答した人の割合です。
 目標値は、毎年度0.9ポイントの増加をめざすものです。



自主防災組織数 危機管理課

現状値	H25	目標値	H27	H28	H29	H30
	196		202	205	208	211

単位：組織

【説明】 防災の共助の取り組みとして地域で活動する組織の数を示す指標です。
 現状値は、平成25年度の自主防災組織の数です。
 目標値は、毎年度3組織の増加をめざすものです。

備蓄食料の想定必要数に対する備蓄達成率 危機管理課

現状値	H25	目標値	H27	H28	H29	H30
	87.3		100	100	100	100

単位：%

【説明】 防災の公助の取り組みの状況を示す指標です。
 現状値は、平成25年度の備蓄食料の想定必要数に対する備蓄達成の割合です。
 目標値は、毎年度100%をめざすものです。
 ※想定避難者(10,381名×3食×3日)+救助者1割(9,342食)+訓練での活用(20,000食)=122,771食
 →予備を含め想定必要数は13万食

消防団団員定員充足率 危機管理課

現状値	H25	目標値	H27	H28	H29	H30
	98		100	100	100	100

単位：%

【説明】 地域防災力としての消防団の強化の度合いを示す指標です。
 現状値は、平成25年度の地域で活動する消防団員の定員充足の割合です。
 目標値は、毎年度100%をめざすものです。

第2節 消防・救急

■ 平成25年4月1日に所沢市・飯能市・狭山市・入間市・日高市で構成する「埼玉西部消防組合」が発足し、これら5市の消防事務(消防団の事務を除く)については共同で処理することとなったため同組合が実施する事業については本実施計画書に掲載していません。

■ 第5次所沢市総合計画前期基本計画のこの節に位置付けられていた「消防力の充実」、「火災予防対策の推進」、「救急体制の充実、救急業務の高度化の推進」、「広域的な消防体制の推進」などの方針については、第5次所沢市総合計画後期基本計画と同時に計画がはじまる、「第1次埼玉西部消防組合総合計画基本計画」の各章(分野別基本方針)に「自律的消防行政の推進」、「消防施設の整備」、「消防力の強化」、「予防行政の推進」、「大規模災害対応力の強化」として位置付けられ、引き続き埼玉西部消防組合が施策を推進します。

■ 「第1次埼玉西部消防組合総合計画基本計画」に掲げる「主なとりくみ」を具現化するために実施する事務事業については、「第一次埼玉西部消防組合総合計画実施計画」に示されています。



埼玉西部消防局管内図



消防出初式

第3節 防犯

～ 防犯意識が高く、犯罪を起こさせにくいまち ～

2-3-1 防犯のまちづくりの推進

(千円)

優先	地域安全活動推進事業	危機管理課	重点	既存	H27	945
			期間:H16～		H28	945
	概要	安全で安心な生活を確保するため、市民の防犯意識の高揚を図り、犯罪を起こさせにくい地域環境づくりを行政と地域が一体となって推進する。防犯指導者養成講座の開催やパトロール資器材の貸し出し、街頭キャンペーンや市民大会などを実施している。			H29	958
					H30	958
重要	防犯協会交付金	危機管理課		既存	H27	4,000
	空き家対策事業	危機管理課	指標	既存	H27	45

2-3-2 防犯体制の充実

(千円)

優先	地域安全活動推進事業	危機管理課	重点	既存	※「2-3-1」と同事業	
----	------------	-------	----	----	--------------	--

◆◇◆計画期間における目標指標

自主防犯団体組織数		危機管理課				
現状値	H25	目標値	H27	H28	H29	H30
	223		229	232	235	238
単位：団体						
【説明】 防犯意識を持った活動団体の組織数を示す指標です。 現状値は、平成25年度の自主防犯団体組織の数です。 目標値は、毎年度3団体の増加をめざすものです。						

犯罪発生件数		危機管理課				
現状値	H25	目標値	H27	H28	H29	H30
	3,751		3,528	3,422	3,319	3,219
単位：件						
【説明】 防犯に関する取り組みの成果を測る指標です。 現状値は、平成25年度の犯罪発生件数です。 目標値は、毎年度3%の減少をめざすものです。						

適正管理を指導した空き家の改善・解決率		危機管理課				
現状値	H25	目標値	H27	H28	H29	H30
	58.6		70.0	70.0	70.0	70.0
単位：%						
【説明】 犯罪を起こさせにくい地域環境づくりの一環として、管理不全な空き家の是正割合を示す指標です。 現状値は、平成25年度の適正管理の指導により空き家が改善・解決した割合です。 目標値は、毎年度70%以上をめざすものです。						

第4節 交通安全

～ 交通弱者を守り、誰もが安心して暮らせるまち ～

2-4-1 交通安全意識の普及啓発

(千円)

重要	交通安全教育推進事業	交通安全課	指標	既存	H27	51,968
	交通安全運動推進事業	交通安全課	指標	既存	H27	3,300

2-4-2 放置自転車対策の推進

(千円)

重要	自転車駐車場整備事業	交通安全課	指標	既存	H27	54,721
	放置自転車対策事業	交通安全課	指標	既存	H27	60,793

2-4-3 誰もが安心して通行できる交通環境の整備

(千円)

重要	交通安全施設整備事業	道路維持課		既存	H27	60,092
----	------------	-------	--	----	-----	--------

2-4-4 交通被害者の救済対策の充実

(千円)

重要	交通遺児対策事業	交通安全課		既存	H27	847
	交通災害共済事業	交通安全課		既存	H27	38,600

◆◇◆計画期間における目標指標

交通安全啓発活動の回数		交通安全課				
現状値	H25 208	目標値	H27 218	H28 223	H29 228	H30 233
単位：回						
【説明】 子どもや高齢者をはじめとした市民への交通安全教育・啓発活動の取り組み実績を示す指標です。 現状値は、平成25年度の交通安全啓発活動の回数です。 目標値は、毎年度5回の増加をめざすものです。						

交通事故(人身事故)発生件数(概数)		交通安全課				
現状値	H25 1,497	目標値	H27 現状値未満	H28 現状値未満	H29 現状値未満	H30 現状値未満
単位：件						
【説明】 交通安全意識の普及啓発や交通環境の整備に対する成果を測る指標です。 現状値は、平成25年度(平成25年1年間)の所沢市内における交通事故(人身事故)件数の概数です。 目標値は、毎年度、現状値未満をめざすものです。						

放置自転車台数		交通安全課				
現状値	H25 59	目標値	H27 55	H28 53	H29 51	H30 50
単位：台						
【説明】 市内9駅周辺における駐車秩序の確立状況を示す指標です。 現状値は、平成25年度3月の晴れの平日(任意)の市内全体の駅周辺放置自転車台数です。 目標値は、平成30年度までに50台をめざすものです。						

第5節 消費生活

～ 市民が正しい知識を持ち、安心・安全な消費活動を行えるまち ～

2-5-1 健全な消費生活の推進

(千円)

重要	計量検査事業	市民相談課(消費生活センター)	既存	H27	1,273
	消費生活に関する表示の適正化事業	市民相談課(消費生活センター)	既存	H27	16

2-5-2 消費者活動の支援

(千円)

優先	消費生活啓発事業	市民相談課 (消費生活センター)	期間:S47～	既存	H27	1,559
					H28	643
	概要	日常生活の中で発生する消費者問題に対応できる消費者を育成することを目的とする。講座、消費生活展、ホームページや啓発用の冊子による情報提供等の啓発活動を実施することで、消費者が自ら考え、判断しうる能力を高め、消費者被害を未然に防止する。			H29	667
					H30	667

重要	消費者団体育成補助事業	市民相談課(消費生活センター)	既存	H27	110
----	-------------	-----------------	----	-----	-----

◆◇◆計画期間における目標指標

消費生活相談の解決度		市民相談課(消費生活センター)				
現状値	H25	目標値	H27	H28	H29	H30
	98.6		現状値以上			
単位 : %						
【説明】 消費生活相談業務の充実度を示す指標です。 現状値は、平成25年度の相談のうち、何らかの解決策を講じることができた件数の割合です。 目標値は、毎年度、現状値以上をめざすものです。						

消費に関する講座参加者の理解度		市民相談課(消費生活センター)				
現状値	H25	目標値	H27	H28	H29	H30
	97.7		現状値以上			
単位 : %						
【説明】 消費者教育に対する取り組み状況を示す指標です。 現状値は、平成25年度の講座参加者の理解度です。 目標値は、毎年度、現状値以上をめざすものです。						



啓発グッズ

